

郷土を愛し、これからの時代を主体的・創造的に自立して生きる生徒の育成
「自律」から「自立」へ『明日もまた 自立の心 東中!』

めざす生徒像

- ・自らの夢や目標に向かって主体的に学ぶ生徒
- ・自他を大切にし、協力し合える生徒
- ・健康でたくましい生徒

めざす学校像

- ・生徒・保護者・地域から信頼される学校
- ・いじめのない笑顔あふれる学校
- ・母校愛・地域愛に満ち、保護者や地域と共に歩む学校

めざす教師像

- ・生徒の成長を第一に考える愛情ある教師（美点凝視）
- ・生徒と共に汗する熱意ある教師（師弟同行・率先垂範・流汗悟道）
- ・生涯学び続ける教師（創意と工夫）
- ・組織の一員として協働できる教職員

◎経営の重点 「挨拶」「返事」「掃除」「笑顔」「感謝」

①夢をかなえる確かな学力の育成に努める。

- ・基礎的・基本的な内容を大切に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。
- ・道徳教育の共同研究・共同実践を通じて、自己の生き方について考えを深め、心豊かな生徒の育成に努める。
- ・「学習の手引き」を活用し、各教科の学習の見通しを持ち、生徒が主体的に学習に取り組めるよう努める。
- ・将来に向けての目標を持ち、様々な体験活動等を活用したキャリア教育の充実に努める。
- ・家庭学習の習慣化と内容の充実に努める。
- ・図書室や学級文庫、東金図書館等を有効に活用し、読書活動の充実に努める。

②自他を大切に、豊かな人間性や社会性の育成に努める。

- ・集団生活の中で自己の役割や責任を自覚し、東中や地域の一員としての帰属意識を高め、将来の社会人としての必要なルールやマナーを身につけるよう努める。
- ・思いやりのある豊かな心を育むため、「福祉教育」を通じた体験活動や道徳教育の充実に努める。
- ・自治的な活動を重視し、生徒自らがよりよい学校生活を築こうとする態度の育成に努める。
- ・生徒と向き合う時間を大切に、日々の清掃活動を通じて、安心・安全できれいな環境づくりに努める。

③たくましく生きるための健康や体力の育成に努める。

- ・教科体育や部活動を含め教育活動全体において、生涯を通して心身の健康を保持するための資質・能力の育成に努める。
- ・生涯にわたり健康に活動できるよう、望ましい食生活を実現しようとする態度の育成に努める。
- ・安全な生活を意識し、災害時の的確な判断や避難行動ができる生徒の育成に努める。

④家庭や地域に信頼される学校づくりに努める。

- ・学年間、分掌間の連携を密にし、教職員が互いに他者を理解し合い、協働することで組織力の向上に努める。
- ・積極的な地域との交流等により、家庭や地域の要望を把握し、家庭・地域・学校の連携・協働の推進に努める。
- ・さくら連絡網や学校・学年だより、区長回覧等を活用した積極的な情報発信により、開かれた学校づくりに努める。

『明日もまた 自立の心 東中』に向けた教育活動の推進

- 「学校教育」「東中の強み」を生かした教育活動の展開
- 「地域愛」「母校愛」を育む！⇒地域との積極的交流
- チーム東中を目指して⇒東中を好きになる！（帰属意識）

1. 沿革(年度)

昭和61年	東金中学校から分離し、東金市立東中学校開校 校歌・校章発表会 PTA設立総会
62年	武道館・プール完成
63年	県教育委員会進路指導公開研究会・校舎進路完成
平成元年	武道館完成・県緑地推進委員会からイヌマキの垣根及びつどいの広場植栽完成
2年	県教育委員会指定 教育放送公開研究会
3年	県教育委員会指定 福祉教育推進校
4年	市指定 生涯教育推進校
6年	福祉教育推進校研究発表会
7年	県教育委員会指定 環境教育推進校 創立10周年記念式典
8年	学級増によりプレハブ校舎6教室増築 環境教育推進校指定
9年	県教育委員会指定 適応指導推進校 千葉県教育研究会音楽研究大会発表会場
10年	県教育委員会指定 東金地区中高一貫教育実践協力校
13年	校舎階段手すり工事
14年	表裏門扉工事
15年	文部科学省 放課後学習チューター調査研究協力校
16年	少人数学級研究校
18年	プレハブ校舎解体 開校20周年記念事業
20年	文部科学省指定（国立教育政策研究所）生徒指導総合連携事業の拠点校
22～23年	県教育委員会指定 山武地区不登校対策拠点校
23年	吹奏楽部 県吹奏楽コンクール金賞・日本管楽合奏全国大会最優秀賞
24年	吹奏楽部 打楽器アンサンブル全国大会最優秀賞 千葉県教育研究会 国語教育研究大会発表会場
25年	日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞
26年	ジュニア打楽器アンサンブルコンクール全国大会優秀賞 東金ブロック体育研究会会場
27年	創立30周年記念行事マスコットキャラクター「ひがっちゅう」制作
28年	体育館屋根修理
29年	体育館バスケットゴール交換 全校トイレ洋式工事
30年	各教室エアコン設置
令和元年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休校
2年	各教室テレビ配置
3年	乗用草刈り機購入
4年	けやき広場インターロッキング一部改修
5年	職員玄関雨樋設置工事

2. 学区の概要

本校は、昭和61年開校から、本年創立37年目を迎える。
学区は、九十九里平野のはば中央部に位置し、北部の丘陵地と南部の平坦地からなり、田間地区、公平地区、豊成地区の3地区で構成されている。生徒の大半は東小学校と豊成小学校からの入学である。地域は、開校後新居住者の流入により生徒数が漸増してきたが、近年は減少傾向にある。
保護者並びに地域住民の学校教育に対する関心は高く、学校行事や地域行事、PTA行事等に協力的である。生徒は、素直で純朴な子が多い。部活動が活発で、様々な教育活動での意欲化につながっている。

3. 学級編成

		(5月1日現在)				
		1年	2年	3年	けやき	合 計
学 級 数		4	4	5	2	15
生 徒 数	男	59(1)	63(3)	87(0)	4	213
	女	61(1)	68(2)	74(1)	4	207
	計	120(2)	131(5)	161(1)	8	420

けやき学級：()内数

1 教育課程編成の方針

教育課程の一般方針に従うとともに、本校の教育目標「郷土を愛し、これからの時代を主体的・創造的に生きる生徒の育成」の達成に向け、以下の事項に特に留意して編成する。

- (1) 学習指導要領を踏まえ、生徒及び家庭や地域の実態に基づく教育課程を編成する。
- (2) 学校教育目標を具現化するため知・徳・体の調和のとれた教育課程を編成する。
- (3) 基礎・基本の定着を図り、確かな学力を身につけさせるため、工夫された教育課程を編成する。
- (4) 道徳や特別活動を中心として、心豊かで思いやりあふれる生徒を育成するための教育課程を編成する。

2 編成上の留意点

- (1) 授業時間
 - ・1単位時間は50分とする。
 - ・週の授業時数は29時間とし、年間35週を確保する。
 - ・各学年の年間総授業時数は1015時間とする。
- (2) 各教科
 - ①「学習の手引き」を活用し、単元ごとの評価基準を生徒に示すとともに、生徒一人一人が目標をもって学習に取り組めるようにする。また、目標に対する自己評価を実施し、自らの学習を調整する力を育成する。
 - ②年間指導計画に沿った、単元計画、週計画を立てることで、授業を計画的に実践するとともに、指導と評価の一体化を図る。
 - ③各教科において、言語活動の充実に努める。
- (3) 総合的な学習の時間
 - ①総合的な学習の時間のねらい
地域の人、もの、ことに関わる探求課題の解決を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにする。
 - ②各学年の単元名及び授業時数
 - 1学年…50時間
 - ・自分の「よさ」、友だちの「よさ」を知ろう
 - ・未来予想図をつくろう
 - 2学年…70時間
 - ・見つけよう 新しい自分を
 - ・適性・適職 自分を活かす
 - 3学年…70時間
 - ・我ら日本の心 ～温故知新～
 - ・ONLY ONE
 - ③特別活動
 - ①学 級 活 動…自己及び他者の理解と尊重、生徒の自発的・自治的活動を通して、望ましい人間関係の確立に努め、集団生活の充実と向上を図る。
 - ②生徒会活動…学校生活における諸問題に対し、生徒の自治的活動を通して解決できるよう活動時間の確保に努める。
 - ③学 校 行 事…望ましい人間関係を形成し、学級、学年への所属感、連帯感を深める体験的な活動を実践する。
- (5) 道徳
 - ・年間35時間の授業実践を行い、道徳推進会議を核として、授業の向上に努める。
 - ・生徒の発達段階や特性等を考慮し、道徳的価値の理解に基づき、人間としての生き方を多面的・多角的に考えられるように努める。
 - ・各教科と道徳との関連を意識するとともに、教育活動全般において道徳的判断力、実践意欲、態度の育成に努める。
 - ・千葉県の道徳教育映像教材を活用する。